



# 新報

令和元年六月二十五日 ©

豊山派宗会臨時会

東日本大震災から八年  
を迎えて 二一三  
半谷 隆信  
白いアズマシヤクナゲ  
藤田 光寛  
バルカン半島の百年  
石堂 恵教  
仏教経典に登場する植  
物⑫ 吉田 真譽  
高野宗カンボジア教育  
支援 (ニユース) 七六  
豊山派宗会臨時会  
智青連全国結集肥前  
浦大会 八  
智山九州弘法大師渡  
解纜慶讃法要 九  
香川仙遊寺本堂再建  
慶法要 一〇  
大阪法樂寺玉山金山大  
岩お迎え式 一一  
法話グランプリ 一二  
三弘法記念法要 一三  
御室派青年会役員交代  
上皇・上皇后両陛下が  
泉山へ 一四  
編集余録 一五

## 社説

### G20サミットへの提言と宗教者の視点

来る六月二十八日から二日間、大阪でG20サミット(金融・世界経済に関する首脳会合)が開催される。これに先立って六月十一・十二の両日、世界十六カ国から百十名の宗教者や国際機関の代表が参加して「G20諸宗教フォーラム二〇一九」が京都市内で開催された。大会会長の瀬川御室派管長は開会式で「G20サミットの主要なテーマは経済成長だが、宗教界としては、それを認めつつも、経済格差による貧困問題の恒常化、気候変動の悪化、苛烈なビジネス競争が招く人権侵害、急速に発展する生命科学や人工知能技術がもたらす危険性などの課題点を提示し、広く社会に発信したい」と挨拶した。

G20サミットでは、世界の主要国が経済的論理によつて議論を進めていくことになる。だが国益のぶつかり合いという経済的視点に偏り過ぎれば、国家間の対立は深まるばかりである。瀬川管長が述べた、経済成長追求の中で置き去りにされた「いのち」の問題に取り組むには、国家を超え、国境を越えた視点からの提言、すなわち世界の諸宗教の叡智が必要になる。諸宗教フォーラムでは、八つのテーマでの議論の成果を「G20諸宗教フォーラム二〇一九『京都宣言』」にまとめ、日本政府を通じて主要国の首脳に提言した。

科学技術の極度の進展やグローバル経済は地球を一つの国のようにしつつある。その一方で新たな排除の論理が生まれている。国連のSDGs(持続可能な開発目標)の基本理念「誰一人取り残さない」は、全ての宗教に共通する「いのち」の尊厳に立脚した世界経済の中でなければ実現できない。世界の宗教者と手を携え、新たな共生の道を構築していくことは、二十一世紀の仏教者の菩薩行である。

余	編
録	集

本号社説で  
取り上げた  
「G20諸宗  
教フォーラ  
ム」の詳報

は近号となるが、大会宣言文  
は六月十四日、三宅善信運営  
委員長と宣言文起草のウスビ  
・サコ京都精華大学人文学部  
教授により、首相官邸で新田  
章文菅官房長官秘書官に託さ  
れ、菅官房長官を通じて安倍  
首相に渡されるとの事であつ  
た▼